

平成23年度 学校評価シート

学校名：和歌山県立串本古座高等学校串本校舎 校長：森本 清仁

目指す学校像 育てたい生徒像	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりの能力を最大限に伸ばし、地域の教育、文化の拠点としての役割を果たすことができる信頼される学校。 自立した市民として豊かな個性と高い志を持ち、社会の担い手として活躍できる生徒。
-------------------	---

本年度の重点目標 (学校の課題に即し、精選した上で、具体的かつ明確に記入する)	1 生徒の学力伸長をめざし指導方法の改善に取り組むとともに個別指導の充実を図る。
	2 生徒指導、進路指導を充実させ、系統的、計画的にキャリア教育を推進する。
	3 部活動、学校行事、体験学習、ボランティア活動等を通し自主活動の活性化を図る。
	4 地域の様々な資源を活用しながら、連携を強化することにより開かれた学校づくりを推進する。

達成度	A	十分に達成した (80%以上)
	B	概ね達成した (60%以上)
	C	あまり十分でない (40%以上)
	D	不十分である (40%未満)

学校評価の結果と改善策の公表の方法
保護者に結果を知らせるとともに、本校HPにおいて公表していく。

(注) 1 重点目標は3～4つ程度設定し、それらに対応した評価項目を設定する。 2 番号欄には、重点目標の番号を記入する。 3 評価項目に対応した具体的取組と評価指標を設定する。
 4 年度評価は、年度末(3月)に実施した結果を記載する。 5 学校関係者評価は、自己評価の結果を踏まえて評価を行う。

自己評価					年度評価 (3月28日現在)		
重点目標					評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
番号	現状と課題	評価項目	具体的取組	評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	生徒の学力幅が広く、基礎学力が十分身につけていない生徒も見られる。生活面でも一人ひとりが抱える課題が大きく異なっているため、個性や能力に応じた個別の対応に力を入れている。 教職員全員が生徒一人ひとりの目標や課題について共通理解を努めるとともに、それぞれにあった効果的な指導を組織的、具体的に展開していくことが必要である。	①教育活動全般について、生徒一人ひとりに応じた適切な指導が行われているか。 ②指導法の改善に向けた研究や取組が行われているか。	<ul style="list-style-type: none"> 個別指導を徹底し学力向上を図る。 生徒の学力の客観的把握及び学力向上のための具体的取組。 研究授業、公開授業等による「授業力」の向上。 生徒理解のための現職教育の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 普通科3分割展開及び放課後、土曜、休業中等の補習等の実施。 全学年で基礎力診断テストを実施、及び宿題コーナーの設置及び各教科での学力向上の取組。 全教員の研究授業の実施、及び生徒授業評価検討会の開催。 担任、教科担任連絡会の開催。 	<ul style="list-style-type: none"> 3分割展開、補習等は実施できた。 年2回の基礎力診断テストを実施した。各教科での取組は成果として現れるまでには至っていない。 全教職員による研究授業を実施。授業評価は内容の見直しを行い実施した。 個別の支援が必要な生徒について担任・教科連絡会議を実施した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 研究授業後の協議を充実させ、授業力向上に生かす。 各コースの取組や習熟度別授業の成果等について検証する。 支援が必要な生徒への対応等について個別の支援計画を充実させる 基礎力診断テストを継続、結果を分析し、教科で課題を共有する。 学習習慣の確立や学力向上に向けた具体的取組を各教科で継続する。 校内研修の充実をさせるために委員会を設置する。
2	生活指導面では、以前に比べると生徒は落ち着いてきているが、課題も依然として残っており引き続き組織的な取組が必要である。 生徒の多くは進路目標を定め、それに向けて努力しているが、中には自らの将来についての展望が持てないままの者もいる。 キャリア教育の視点に立ち、自らの将来を見据え目的意識を明確に持って進路実現のために前向きに取り組んでいけるような生徒の層を増やしていく必要がある。	①家庭・地域・関係機関等との連携の下組織的計画的な指導が行われているか。 ②特別指導は教育的配慮の下、効果的に行われているか。教育相談活動が適切に行われているか。 ③ガイダンス機能を重視した進路指導が行われているか。 ④体験的な活動が行われているか。	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な全校集会、身だしなみ指導を実施。 基本的な生活習慣の確立。 環境の整美のための清掃の徹底。 交通安全、薬物、情報モラル等の意識の向上を図る。 就職進学等の進路保障。 キャリア教育の推進。 	<ul style="list-style-type: none"> 組織的な個別指導を行うと共に、月ごとに指導目標を設定する。 校門指導、校内巡視等を毎日行う。 月1回の大掃除を実施する。 地元警察署等、外部人材を活用した各種取組を推進する。 学校幹旋就職、進学希望生全員合格をめざす。 ガイダンス、講演会等の開催、1年で2日の就業体験を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な全校集会、身だしなみ指導は行ったが毎月の目標は設定できなかった。 全教員が分担し校門での登校指導を行った。 大掃除は実施できたが、継続した環境美化の取組が必要である。 警察署等の外部の協力により各種講演会や学集会を実施した。 数名の就職未内定、進学先未決定者が出た。 ガイダンスやインターンシップを実施できた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導部と担任の連携を強化するとともに、より効果的な運用に向けて現在の取組を工夫、改善する。 身だしなみや、基本的な生活習慣が確立されていない生徒に対する指導を徹底する。 生徒の身だしなみ等についての意識を高め、生徒会等に対し主体的取組を促す。 校内美化に向け整美委員会の活性化を図る。 総合的な学習の時間等を通じてキャリア教育の充実を図り、早い段階から目標実現のための準備に取り組む。 学年、教科、分掌の連携を一層強化し、組織的な進路指導を行う。
3	クラブへの加入率が高く生徒は意欲的に活動に取り組んでいる。学校行事等や総合学習などでも地域の特色を生かした体験活動等に取組んでいる。さらに生徒が自主的主体的に活動し、それを通じて 集団の中で自主性や社会性、規範意識や判断力、良好な対人関係構築能力等を身につけられるような取組にまで発展させていきたい。	①学校行事において生徒の実態や地域の特色などを生かした活動が行われているか。 ②ボランティア活動その他の体験活動が実施されているか。 ③生徒の自主的、自立的な活動ができているか。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体となった生徒会行事を開催する。 ボランティア行事への参加啓発。 総合的な学習の時間等を利用した体験学習、国際交流活動等の実施。 クラブ活動への参加奨励及び積極的な指導。 	<ul style="list-style-type: none"> 行事についての生徒評価を毎回実施し、改善を図る。 ピーチクリーンボランティア等を全校生徒で行う。 国際交流活動の機会を複数回以上設ける。 全国大会出場、近畿大会出場、県大会上位入賞を達成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 体育祭、文化祭の生徒評価を実施できた。 ピーチクリーンは悪天候のため中止、台風災害に係る復興ボランティア活動には大勢の生徒が参加した。 ホームステイ語学研修への参加者が大幅に増加した。 全国大会：弓道、商業部 近畿大会：陸上競技、柔道、弓道 県吹奏楽コンクール金賞 	A	<ul style="list-style-type: none"> 行事の時期や内容、実施方法等について継続して検討を重ね、改善していく。 ボランティアや防災に関する意識を高めるために生徒会活動等を軸にした取組を推進する。 研修旅行等を通じて異文化、国際理解教育に係る取組を継続するとともに、国際交流活動にも取り組む。 クラブ顧問の適正配置について検討する。
4	地域密着型の学校であるので、地域と連携し、地域の様々な資源を活用した教育活動に取り組むことで開かれた学校づくりを推進する。入学志願者の増加に向けて学校の教育活動、特色についての広報活動に努めていきたい。	①地域、家庭、関係機関等との連携した具体的な取組が行われているか。 ②学校の教育活動等が外部に広報されているか。 ③校内の安全管理体制の充実強化が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> 地域の施設や人材などを活用した「ふるさと教育」の推進。 防災訓練等を軸にした防災学習の推進。 教育活動についての広報活動の推進。 育友会等と連携した種々の取組の推進。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源を活用したフィールドワーク等の取組を行う。 月1回の避難訓練を徹底して行う。 毎月のHP更新、マンスリー等を関係機関に配布。 マラソン大会、文化祭等への育友会員参加を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産フィールドワークを実施した。 月1回の避難訓練及び様々な形で防災学習を行った。 生徒在籍中学校にマンスリーを配付教頭が中学校を訪問。 保護者の協力により行事を実施した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間にESDの観点からの取組を位置づけ、フィールドワークや研修旅行等に取り組む。 防災については訓練を中心に様々な取組を継続して行い、自分の命を自分で守るための力を身につけさせる。中学生との合同訓練等も計画する。 様々なチャンネルを活用した広報活動を継続する。

学校関係者評価	
平成24年3月4日 実施	
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> ◎生活指導・特別活動・行事等 <ul style="list-style-type: none"> 熱心な校門指導や列車指導等で生徒達は落ち着いてきている。 生活面は随分と良くなっている。今後の先生方指導に期待する。 一部の生徒の身だしなみの改善が必要。 親近感を持てる指導で、生徒達も明るく活発な子が多い。 学校行事等では先生方と生徒の一体感が感じられていい。 個性の違う子ども達の教育は難しいが、将来を担う大切な子どもなのでよろしく願いたい。 災害ボランティア、フィールドワーク、インターンシップなど地域に密着した活動を通じて、生徒たちが紀南地方をよく知り愛着を持つようになってもらいたい。 職員室に入りやすい雰囲気がいい。 先生方の指導で安心して学校に子どもを通わせることができる。 ◎学習指導・進路指導等 <ul style="list-style-type: none"> 生徒達の授業への取組はまじめであり落ち着いている。 (個別)補習等があり、ありがたい。 教師の授業力のさらなる向上を目指して頑張してほしい。 大学進学者数を増やす方法、カリキュラムの充実を願いたい。 休日の学習指導がありがたかった。 入学時に学校選択で迷ったが、串本校舎でよかった。 ◎学校運営等 <ul style="list-style-type: none"> 現在の状況を維持して欲しい。 古座校舎と競争意識を持てるような動きかけをしてはどうか。 学校の特色を出すのは難しいがよく努力されていると感謝する。 よくまとまっていると感じます。 素晴らしい教育環境を維持し魅力ある学校にして欲しい。 串本古座高校としての特色を今以上に出すことが必要。 ◎その他 <ul style="list-style-type: none"> 保護者ももっと学校に出ていくべき。(総会等の出席率が低すぎ) 学校からの文書は串本校舎、古座校舎を明記してほしい。 電車通学の生徒も多いので時間等臨機応変の対応を望む。 校内美化のため上履きを導入できないか。 	